

第3回資源評価結果説明会

【議事要旨】

○日 時：令和5年1月18日（水）10:00～15:30

○場 所：Web 会議

○魚種系群：ヒラメ北海道日本海北部系群、アカガレイ日本海系群、ベニズワイガニ日本海系群

○概 要：

ヒラメ北海道日本海北部系群、アカガレイ日本海系群、ベニズワイガニ日本海系群の資源評価結果について、当該水産資源の関係者を主な対象として、公開で、ウェブ形式の説明会を開催した。

本説明会では、国立研究開発法人水産研究・教育機構から水産資源ごとの資源評価結果の説明が行われ、これに対して参加者から質問・意見等があり、活発な議論が行われた。

主な意見等は以下のとおり。

1. ヒラメ北海道日本海系群

- ① 種苗放流による資源への影響について、科学的な検討を行い、資源評価や資源管理の議論にいかせるように、引き続き検討して欲しい。
- ② 再生産関係にホッケースティック型を採用した理由を今後の会議で丁寧に説明して欲しい。

2. アカガレイ日本海系群

- ① 地域によっては現場感覚と異なる状況が生じており、回遊や分布の傾向に関する調査・研究を進め、資源評価や資源管理にいかせるよう検討して欲しい。
- ② 過去の資源が減少した経緯や親魚、加入群の分布域について情報収集し、資源評価にいかせるよう検討して欲しい。
- ③ 再生産関係にホッケースティック型を採用した理由を今後の会議で丁寧に説明して欲しい。
- ④ 専門用語について、資料の中で用語の説明を加えるなど工夫して欲しい。

3. ベニズワイガニ日本海系群

- ① 大臣許可水域に関して、韓国船の漁獲による資源への影響が大きい可能性が考えられるため、この点についても丁寧に説明して欲しい。
- ② ベニズワイガニの生態は、2系ルールを設定する際に考慮した様々な資源と比較し

ても特異であり、同資源の特性を考慮したABC算定方法等を検討して欲しい。

- ③ データの使用範囲について、資源の開発初期を含めるか・否かなど、資源評価で参照する適正な範囲を検討して欲しい。
- ④ 資源状況がよくなった場合でも、現状の2系ルールでは前年の漁獲量を下回るABCが算定される可能性があるが、リスクを許容した上で資源状況の変化に則したTACを設定することを資源管理の側で検討して欲しい。
- ⑤ 調査結果等で今後の資源状況が改善することが予測される場合において、その状況を反映したABCを算定する手法について検討して欲しい。

以上について、今後の課題として検討されることとなった。

以上

第5回資源評価結果説明会

【議事要旨】

○日時：令和5年1月25日（水）10:00～16:00

○場所：WEB 会議

○魚種：トラフグ日本海・東シナ海・瀬戸内海系群

ヒラメ日本海中西部・東シナ海系群

サワラ日本海・東シナ海系群

○概要：

トラフグ日本海・東シナ海・瀬戸内海系群、ヒラメ日本海中西部・東シナ海系群、サワラ日本海・東シナ海系群の資源評価結果について、当該水産資源の関係者を主な対象としつつ、公開でウェブ形式の説明会を開催した。

本説明会では、国立研究開発法人水産研究・教育機構から水産資源ごとの資源評価結果の説明が行われ、これに対して参加者から質問・意見等があり、活発な議論が行われた。

主な意見等は以下のとおり。

1. トラフグ日本海・東シナ海・瀬戸内海系群

- ① 図7“漁獲圧（%SPR）と加入1尾あたりの相対漁獲量（YPR）の関係”について、縦軸と横軸の表記がトン数表記になっておらず、MSYとの関係を理解しにくい
ため、わかりやすい表記方法を検討してほしい。
- ② 近年の加入量の減少について、現状想定される要因についての丁寧な説明と更なる
検討を引き続きお願いしたい。
- ③ 将来の加入量の仮定に3年区切りのバックワードリサンプリングに準じた手法を採
用しているが、当該資源に適正な手法であるか、楽観的な予測になっていないか、に
ついて丁寧に説明してほしい。
- ④ できる限り多くの方に理解しやすいよう、説明の仕方を工夫してほしい（質疑の時間
を長くとり、対話形式で説明する等）。
- ⑤ 上限下限ルールは新しい考え方であり、丁寧に説明してほしい。
- ⑥ 漁獲金額の最大化を目標とした場合の試算を可能な範囲で今後検討してほしい。

2. ヒラメ日本海中西部・東シナ海系群

- ① 若齢魚を獲り控えた選択率を仮定した場合の将来予測の試算結果を説明してほしい。
- ② 餌生物であるマイワシ・カタクチイワシの資源変動との関係について、検討してほし
い。

- ③ 上限下限ルールは新しい考え方であり、丁寧に説明してほしい。
- ④ 加入量が減少している要因として考えられること及び将来予測に近5年の加入量が継続する仮定としたことの妥当性について、丁寧に説明してほしい。
- ⑤ 漁獲金額の最大化を目標とした場合の試算を可能な範囲で今後検討してほしい。

3. サワラ日本海・東シナ海系群

- ① 漁獲量のブレが大きい資源であり、近5年平均漁獲量を基準とする場合以外のABC算定方法を検討してほしい。
- ② 突発的な資源変動が生じる資源であり、その要因を引き続き検討してほしい。
- ③ まき網と定置網のCPUEのトレンドは異なっているが、その要因及びこの二つの相乗平均を資源量指標値とすることが妥当なのか、説明してほしい。
- ④ 1系への移行など含め資源評価手法の向上を引き続き検討してほしい。
- ⑤ 2系ルールで設定するパラメータについて、魚種ごとの特性を考慮することを今後検討してほしい。
- ⑥ 中国の情報が得られるよう行政は努力し、資源評価に応用できるよう検討してほしい。
- ⑦ 2系ルールを策定する際のMSE（管理戦略評価）の議論において、ステークホルダーが参加できるよう、検討してほしい。

以上について、今後の課題として検討されることとなった。

以上